

2023年度 清水地域中心市街地 通行量・来街者調査 結果報告書



静岡市中心市街地活性化協議会・静岡商工会議所
静岡市

2023年度 清水地域中心市街地 通行量・来街者調査 結果報告書

< 目次 >

通行量調査結果

【調査概要】	- 1 -
1. 総通行量	- 2 -
2. 地点別通行量	- 4 -
3. 男女別通行量	- 5 -
4. 時間帯別通行量	- 5 -
◇表7【地点別通行量】	- 7 -
◇表8【時間帯・男女別通行量】	- 8 -

来街者調査結果

【調査概要】	- 9 -
1. 街へ来る交通手段	- 10 -
2. 街へ来る頻度	- 10 -
3. 1年前と比べた来街頻度	- 10 -
4. 来街場所・目的地	- 11 -
5. 中心市街地を訪れる目的	- 13 -
6. 買物・飲食での予算額	- 13 -
7. 中心市街地での滞在時間	- 14 -
8. 中心市街地でのお買物・サービスの機能	- 15 -
9. 充実してほしい施設やサービス	- 16 -
10. 希望するまちのイメージ	- 17 -
11. 物価高騰が続くことによる家計への影響	- 18 -
12. 物価高騰の影響を感じる項目	- 19 -
13. 1年前と比較して支出を抑えている項目	- 21 -

2023年度 清水地域中心市街地通行量調査結果



本調査は、清水地域中心市街地への来街者の通行量を地点別に捉えるとともに、各商店街の通行量や主要施設への人の流れを把握することを目的として、毎年11月の最終日曜日に実施している。

【調査概要】

◆調査日時 2023年（R5）11月26日（日） 10:00～17:00

◆調査地点 全17地点

- ◇ J R清水駅西口
- ◇ J R清水駅東口
- ◇ J R清水駅前交差点
- ◇清水駅前銀座・シーグランデ前
- ◇清水駅前銀座・清水ベイプラザ前
- ◇清水中央銀座・旧蝶屋スタイル前
- ◇清水銀座・パルシティ前
- ◇静岡鉄道・新清水駅
- ◇相生町・産業情報プラザ前
- ◇清水港町・サンライス前
- ◇次郎長通り・商店会事務所前
- ◇自転車道・エスパルスドリームプラザ入口
- ◇自転車道・島崎町入口
- ◇清水魚市場・河岸の市前
- ◇J R東海道線真砂踏切前
- ◇歩行者デッキ・清水マリナート前
- ◇清水マリビル前

◆調査対象 小学生以上の歩行者

◆気象状況 晴れ（日照時間は6.0時間で平年並みの1日であった）

当日の気温 ※静岡地方気象台調べ

10時	14.4℃	14時	16.1℃
11時	14.1℃	15時	17.6℃
12時	15.2℃	16時	16.1℃
13時	15.9℃	17時	14.9℃

最高気温 17.8℃ 最低気温 8.9℃ 平均気温 12.2℃ [平年 12.3℃]

1. 総通行量

◆総通行量は前年度から大幅に増加

2013年度(H25)から継続して調査を実施している16地点の総通行量は66,191人(対前年度比50,054人、310.2%増)で、前年度から大幅に増加する結果となった。《表1、表2》。

また、全17地点の総通行量は67,487人(対前年比50,747人、303.1%増)と、同じく前年度から大幅に増加した。《表3》。

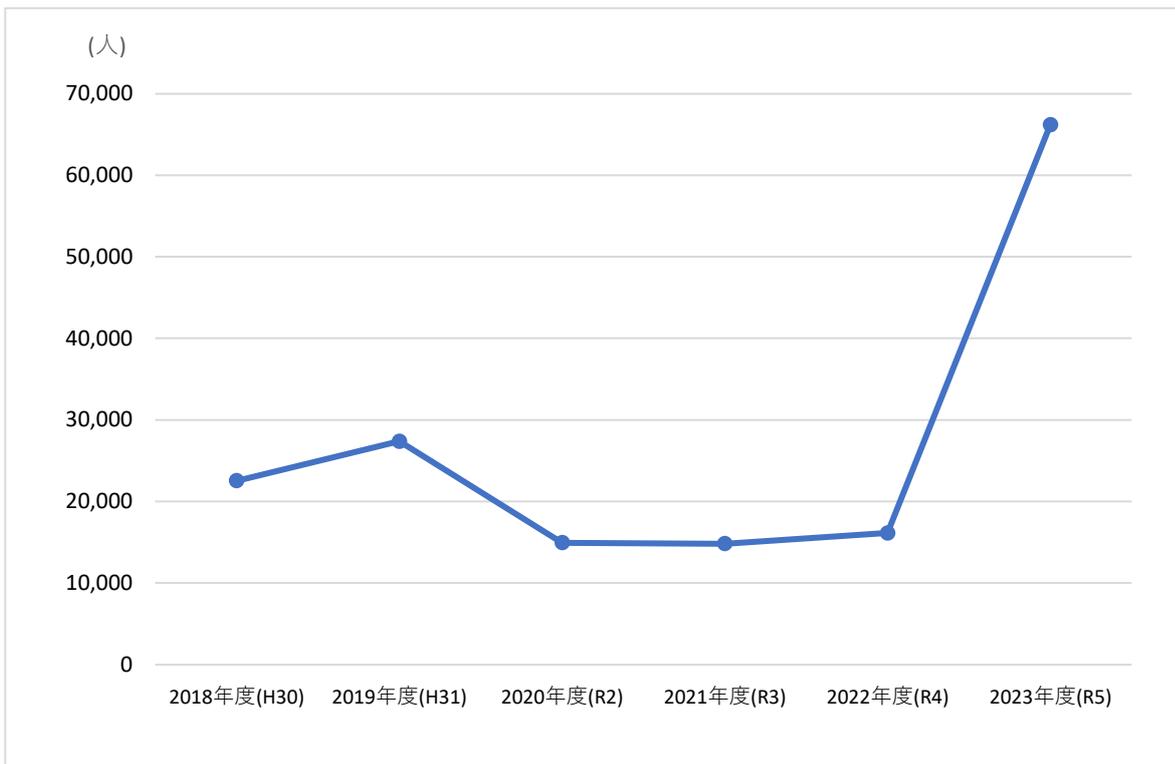
《表1》継続調査16地点の通行量の年度比較

年度	総通行量(人)	指数
2018年度(H30)	22,544	100.0
2019年度(H31)	27,378	121.4
2020年度(R2)	14,935	66.2
2021年度(R3)	14,829	65.8
2022年度(R4)	16,137	71.6
2023年度(R5)	66,191	293.6

◇通行量(人)は、2013年度(H25)から継続調査している16地点の通行量の合計

◇指数は5年前の2018年度(H30)を100とした数値

※参考3ページ《表2》16地点の通行量の年度比較

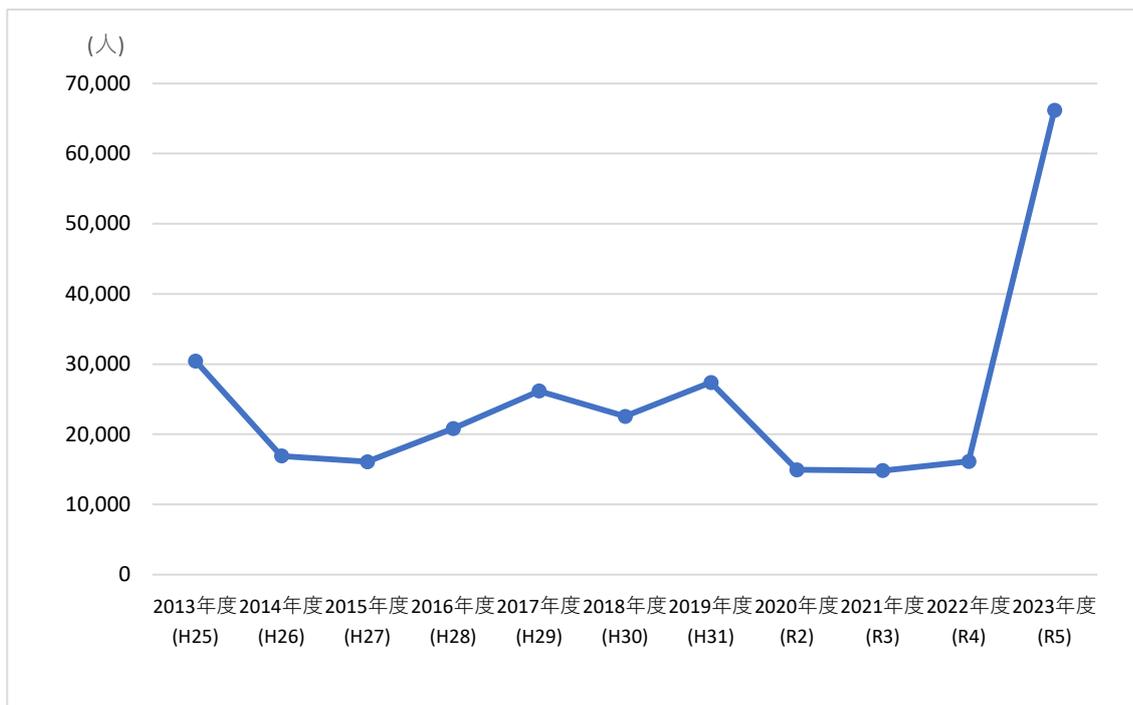


《表2》【参考16地点の通行量の年度比較〔2013年度（H25）～〕】

年度	総通行量(人)	指数
2013年度(H25)	30,441	100.0
2014年度(H26)	16,900	55.5
2015年度(H27)	16,089	52.9
2016年度(H28)	20,820	68.4
2017年度(H29)	26,170	86.0
2018年度(H30)	22,544	74.1
2019年度(H31)	27,378	89.9
2020年度(R2)	14,935	49.1
2021年度(R3)	14,829	48.7
2022年度(R4)	16,137	53.0
2023年度(R5)	66,191	217.4

◇上記表は2013年度（H25）から継続調査している16地点の通行量の合計

◇指数は2013年度（H25）を100とした数値



《表3》【参考】全地点の通行量の推移

年度	総通行量(人)	調査地点	1地点当たり通行量(人)
2018年度(H30)	22,544	16	1,409
2019年度(H31)	27,378	16	1,711
2020年度(R2)	14,935	16	933
2021年度(R3)	15,108	17	889
2022年度(R4)	16,740	17	985
2023年度(R5)	67,487	17	3,970

2. 地点別通行量

◆ J R清水駅西口が最多

最も通行量が多かったのは「J R清水駅西口」の15,075人(対前年度比309.4%増)で、以下「J R清水駅東口」の11,030人(対前年度比875.2%増)、「清水駅前銀座・シーグランデ前」の9,400人(対前年度比519.2%増)の順で、いずれも「第9回富士山コスプレ世界大会」開催の影響によるものと思われる。最も通行量が増加したのは「次郎長通り・商店会事務所前」(対前年度比3,525.0%増)で、当日は「ジロチョウマーケット」が開催され、多くの人出があった。一方、最も通行量が減少したのは「清水魚市場・河岸の市前」(対前年度比54.5%減)で、地点別の増減を見ると、前年度より減少したのはこの1地点のみであった。《表4》。

《表4》 地点別通行量

調査地点名	2023年度(R5)		2022年度(R4)		増減	
	通行量(人)	順位	通行量(人)	順位	人	率
JR清水駅西口	15,075	1	3,682	1	11,393	309.4%
JR清水駅東口	11,030	2	1,131	6	9,899	875.2%
清水駅前銀座・シーグランデ前	9,400	3	1,518	3	7,882	519.2%
清水駅前銀座・清水ベイプラザ前	8,139	4	1,241	5	6,898	555.8%
自転車道・エスパルスドリームプラザ入口	5,202	5	1,964	2	3,238	164.9%
次郎長通り・商店会事務所前	4,495	6	124	17	4,371	3525.0%
静岡鉄道・新清水駅	2,715	7	1,471	4	1,244	84.6%
清水中央銀座・旧蝶屋スタイル前	2,540	8	946	7	1,594	168.5%
歩行者デッキ・清水マリナート前	1,502	9	863	8	639	74.0%
JR清水駅前交差点	1,404	10	691	9	713	103.2%
清水マリンビル前	1,296	11	603	10	693	114.9%
清水港町・サンライス前	1,293	12	479	13	814	169.9%
自転車道・島崎町入口	969	13	402	14	567	141.0%
清水銀座・パルシティ前	868	14	489	12	379	77.5%
JR東海道線真砂踏切前	761	15	299	16	462	154.5%
相生町・産業情報プラザ前	568	16	332	15	236	71.1%
清水魚市場・河岸の市前	230	17	505	11	-275	-54.5%
総通行量	67,487		16,740		50,747	303.1%

3. 男女別通行量

◆男女比はほぼ半数

全時間帯の男女比は男性 52.1%、女性 47.9%とほぼ半数の割合であった《表 6》。男性の割合が高い地点は、「JR 東海道線真砂踏切前」59.8%、「清水マリビル前」58.2%、「清水駅前銀座・シーグランド前」・「清水駅前銀座・清水ベイプラザ前」56.9%の順であった。女性の割合が高い地点は「次郎長通り・商店会事務所前」62.8%、「清水港町・サンライス前」55.8%、「自転車道・エスパルスドリームプラザ入口」53.1%の順であった《表 5》。

《表 5》男女別通行量

<男性の割合が多い上位 5 地点>

調査地点	男性	女性
J R 東海道線真砂踏切前	59.8	40.2
清水マリビル前	58.2	41.8
清水駅前銀座・シーグランド前	56.9	43.1
清水駅前銀座・清水ベイプラザ前	56.9	43.1
自転車道・島崎町入口	56.2	43.8

<女性の割合が多い上位 5 地点>

調査地点	女性	男性
次郎長通り・商店会事務所前	62.8	37.2
清水港町・サンライス前	55.8	44.2
自転車道・エスパルスドリームプラザ入口	53.1	46.9
静岡鉄道・新清水駅	50.1	49.9
J R 清水駅東口	49.6	50.4

4. 時間帯別通行量

◆通行量のピークは「13 時～14 時」

通行量がピークとなる時間帯をみると、「13 時～14 時」が 11,714 人で最も多く、次いで「12 時～13 時」が 11,306 人、「14 時～15 時」が 11,158 人の順となった。

男女別にみても、ほぼ同じ結果で「11 時～15 時」の間の通行量が多かった。《表 6》。

《表 6》時間帯別通行量（全地点合計）

（単位：人）

時間 性別	10 時 ～11 時	11 時 ～12 時	12 時 ～13 時	13 時 ～14 時	14 時 ～15 時	15 時 ～16 時	16 時 ～17 時	合 計 (比率)
男性	3,563	5,488	5,765	6,041	5,636	4,747	3,890	35,130 (52.1%)
女性	3,411	4,589	5,541	5,673	5,522	4,329	3,292	32,357 (47.9%)
合計	6,974	10,077	11,306	11,714	11,158	9,076	7,182	67,487

◇表7【地点別通行量】

調査地点／調査年	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
JR清水駅西口	5,193	5,560	3,423	2,326	3,682	15,075
JR清水駅前交差点	775	761	547	466	691	1,404
清水駅前銀座・シーグランデ前	2,195	2,234	1,072	1,658	1,518	9,400
清水駅前銀座・清水ベイプラザ前	1,459	1,503	856	855	1,241	8,139
清水中央銀座・旧蝶屋スタイル前	1,092	1,141	726	1,127	946	2,540
清水銀座・パルシティ前	549	458	466	602	489	868
静岡鉄道・新清水駅	2,239	2,645	1,190	1,432	1,471	2,715
相生町・産業情報プラザ前	324	390	243	318	332	568
清水港町・サンライス前	639	1,560	558	340	479	1,293
次郎長通り・商店会事務所前	119	388	111	165	124	4,495
自転車道・エスパルスドリームプラザ入口	2,082	5,641	1,442	1,955	1,964	5,202
自転車道・島崎町入口	398	665	368	492	402	969
清水魚市場・河岸の市前	792	484	207	741	505	230
JR清水駅東口	1,562	2,163	2,372	1,291	1,131	11,030
JR東海道線真砂踏切前	491	420	366	357	299	761
歩行者デッキ・清水マリナート前	2,635	1,365	988	704	863	1,502
清水マリンビル前	-	-	-	279	603	1,296
全調査地点の総通行量	22,544	27,378	14,935	15,108	16,740	67,487

◇表8【時間帯・男女別通行量】

調査地点／時間帯		10:00～ 11:00	11:00～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:00	14:00～ 15:00	15:00～ 16:00	16:00～ 17:00	合計	構成比
JR清水駅西口	男性	768	1,256	1,272	1,298	1,259	1,155	1,054	8,062	53.5%
	女性	698	912	1,172	1,120	1,214	1,034	863	7,013	46.5%
	計	1,466	2,168	2,444	2,418	2,473	2,189	1,917	15,075	
JR清水駅前交差点	男性	100	99	104	97	119	95	97	711	50.6%
	女性	109	110	103	97	89	96	89	693	49.4%
	計	209	209	207	194	208	191	186	1,404	
清水駅前銀座・シーグラウンド前	男性	474	859	820	999	889	763	545	5,349	56.9%
	女性	305	521	740	864	763	491	367	4,051	43.1%
	計	779	1,380	1,560	1,863	1,652	1,254	912	9,400	
清水駅前銀座・清水ベイプラザ前	男性	326	661	838	853	855	670	432	4,635	56.9%
	女性	240	440	626	589	732	570	307	3,504	43.1%
	計	566	1,101	1,464	1,442	1,587	1,240	739	8,139	
清水中央銀座・旧蝶屋スタイル前	男性	152	196	211	209	270	155	139	1,332	52.4%
	女性	164	160	165	163	284	160	112	1,208	47.6%
	計	316	356	376	372	554	315	251	2,540	
清水銀座・パルシティ前	男性	73	75	58	61	75	56	56	454	52.3%
	女性	61	60	48	59	74	48	64	414	47.7%
	計	134	135	106	120	149	104	120	868	
静岡鉄道・新清水駅	男性	201	190	204	239	179	191	152	1,356	49.9%
	女性	241	189	205	187	192	169	176	1,359	50.1%
	計	442	379	409	426	371	360	328	2,715	
相生町・産業情報プラザ前	男性	42	51	36	44	51	48	30	302	53.2%
	女性	51	38	36	33	37	35	36	266	46.8%
	計	93	89	72	77	88	83	66	568	
清水港町・サンライズ前	男性	92	99	101	93	81	72	33	571	44.2%
	女性	75	106	160	140	104	81	56	722	55.8%
	計	167	205	261	233	185	153	89	1,293	
次郎長通り・商店会事務所前	男性	365	456	310	239	203	85	16	1,674	37.2%
	女性	710	768	492	411	277	141	22	2,821	62.8%
	計	1,075	1,224	802	650	480	226	38	4,495	
自転車道・エスバルスドリームプラザ入口	男性	251	323	582	389	385	268	242	2,440	46.9%
	女性	266	316	584	443	487	381	285	2,762	53.1%
	計	517	639	1,166	832	872	649	527	5,202	
自転車道・島崎町入口	男性	49	78	87	107	86	78	60	545	56.2%
	女性	24	45	69	122	69	57	38	424	43.8%
	計	73	123	156	229	155	135	98	969	
清水魚市場・河岸の市前	男性	22	21	22	23	19	5	5	117	50.9%
	女性	13	20	20	36	16	5	3	113	49.1%
	計	35	41	42	59	35	10	8	230	
JR清水駅東口	男性	409	820	829	1,041	830	877	749	5,555	50.4%
	女性	287	682	905	1,083	904	905	709	5,475	49.6%
	計	696	1,502	1,734	2,124	1,734	1,782	1,458	11,030	
JR東海道線真砂踏切前	男性	54	82	57	56	68	71	67	455	59.8%
	女性	37	46	45	47	55	43	33	306	40.2%
	計	91	128	102	103	123	114	100	761	
歩行者デッキ・清水マリナート前	男性	111	140	111	151	137	89	79	818	54.5%
	女性	87	122	88	131	121	66	69	684	45.5%
	計	198	262	199	282	258	155	148	1,502	
清水マリンビル前	男性	74	82	123	142	130	69	134	754	58.2%
	女性	43	54	83	148	104	47	63	542	41.8%
	計	117	136	206	290	234	116	197	1,296	
合計	男性	3,563	5,488	5,765	6,041	5,636	4,747	3,890	35,130	52.1%
	女性	3,411	4,589	5,541	5,673	5,522	4,329	3,292	32,357	47.9%
	計	6,974	10,077	11,306	11,714	11,158	9,076	7,182	67,487	
構成比	男性	51.1%	54.5%	51.0%	51.6%	50.5%	52.3%	54.2%	52.1%	
	女性	48.9%	45.5%	49.0%	48.4%	49.5%	47.7%	45.8%	47.9%	

2023年度 清水地域中心市街地来街者調査結果

本調査は、来街者の清水地域中心市街地を訪れた目的、交通手段、来街頻度等について実態の把握を行うため、毎年11月の最終日曜日に通行量調査と同時に実施している。

【調査概要】

- 調査日時 2023年（R5）11月26日（日） 10:00～17:00
- 調査地点 全15地点
 - ◇J R清水駅西口
 - ◇J R清水駅東口
 - ◇J R清水駅前交差点
 - ◇清水駅前銀座・シーグランデ前
 - ◇清水駅前銀座・清水ベイプラザ前
 - ◇清水中央銀座・旧蝶屋スタイル前
 - ◇清水銀座・パルンティ前
 - ◇静岡鉄道・新清水駅
 - ◇相生町・産業情報プラザ前
 - ◇清水港町・サンライス前
 - ◇自転車道・エスパルスドリームプラザ入口
 - ◇自転車道・島崎町入口
 - ◇清水魚市場・河岸の市前
 - ◇J R東海道線真砂踏切前
 - ◇歩行者デッキ・清水マリナート前
- 調査方法 来街者に対する面接アンケート方式
- 回答者数 300人

【回答者属性】（単位：％）

性別		n = 300
男性		57.7
女性		42.3

世帯別		n = 252
単身世帯		21.8
家族同居		78.2

職業別		n = 289
会社員		40.1
自営業		6.2
パート・アルバイト		12.1
学生		11.8
その他		10.0
無職		19.8

年代別		n = 300
10代		10.7
20代		8.3
30代		11.0
40代		16.0
50代		15.7
60代		17.7
70代		20.6

住所別		n = 300
静岡市内		83.7
（清水区）		72.3
（葵区）		6.7
（駿河区）		4.7
静岡市以外		16.3

1. 街へ来る交通手段

◆市内からは「徒歩」、市外からは「自動車」が最多

来街の主な交通手段は、全体では「徒歩」が最も多く、次に「自動車」となった。回答者の住所を市内・市外別にみると、市内からは「徒歩」「自動車」「自転車」の順で、市外からは「自動車」が5割以上で、次いで「JR東海」であった。

《来街交通手段》

(単位: %)

順位	1位				2位				3位			
	2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)	
全体 n=300	徒歩	36.0	徒歩	38.0	自動車	31.7	自動車	23.7	静鉄電車	8.3	JR東海	19.7
静岡市内 n=251	徒歩	43.0	徒歩	43.6	自動車	26.7	自動車	24.5	自転車	8.8	JR東海	11.7
静岡市外 n=49	自動車	57.1	JR東海	66.6	JR東海	28.6	自動車	19.0	静鉄電車	12.2	静鉄電車	4.8

2. 街へ来る頻度

◆全体では「ほぼ毎日」が最多

清水の中心市街地にどの位の頻度で来るか尋ねたところ、全体では「ほぼ毎日」が最も多く、次に「週1～2回」、「月1～2回」の順であった。回答者の住所の市内・市外別にみると、市内では「ほぼ毎日」と「週1～2回」で約7割、市外では「2～3ヶ月に1回」が5割以上を占めた。

《来街頻度》

(単位: %)

順位	1位				2位				3位			
	2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)	
全体 n=300	ほぼ毎日	28.3	ほぼ毎日	34.0	週1～2回	19.3	月1～2回	18.7	月1～2回	17.7	週1～2回	17.3
静岡市内 n=251	ほぼ毎日	33.5	ほぼ毎日	38.5	週1～2回	23.1	週1～2回	21.0	月1～2回	18.7	月1～2回	19.1
静岡市外 n=49	2～3か月に1回	57.1	ほとんど来ない	39.5	ほとんど来ない	28.6	2～3か月に1回	27.9	月1～2回	12.2	初めてきた	14.0

3. 1年前と比べた来街頻度

◆全体の6割が「ほとんど変わらない」と回答

1年前と比べて清水の中心市街地に来る回数は、全体で「ほとんど変わらない」が60.1%で最も多かった。回答者の住所を市内・市外別にみると、ともに「ほとんど変わらない」が最多だった。

《1年前と比べた来街頻度》

(単位: %)

順位	1位				2位				3位			
	2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)		2023年度(R5)		2022年度(R4)	
全体 n=288	ほとんど変わらない	60.1	ほとんど変わらない	62.2	やや増えた	15.3	やや増えた	12.8	やや減った	12.8	やや減った	10.4
静岡市内 n=243	ほとんど変わらない	60.1	ほとんど変わらない	61.5	やや増えた	16.0	やや増えた	11.5	やや減った	12.3	やや減った	11.5
静岡市外 n=45	ほとんど変わらない	60.0	ほとんど変わらない	66.7	やや減った	15.6	やや増えた	22.2	やや増えた	11.1	かなり増えた	14.0

来街頻度が増えた理由(複数回答)については、「来る用事が増えた」が最も多く、続いて「催事、イベントが増えた」の順であった。一方、減った理由については「来る用事がなくなった」が最も多く、続いて「催事、イベントが減った」の順であった。

《増えた理由》

(複数回答)

《減った理由》

(複数回答)

n = 56		
順位	中心市街地に来る回数が増えた理由	割合(%)
1	来る用事が増えた	39.3
2	催事、イベントが増えた	28.6
3	街の雰囲気、街並が良くなった	16.1
4	通勤、通学等の事情	14.3
5	交通アクセスが便利になった	7.1

n = 47		
順位	中心市街地に来る回数が増えた理由	割合(%)
1	来る用事がなくなった	53.2
2	催事、イベントが減った	19.1
3	好きな店・ブランドが減った	17.0
4	通勤、通学等の事情	8.5
5	交通アクセスが不便になった	6.4

4. 来街場所・目的地

◆来街場所・目的地は「清水駅前銀座商店街」が最多

来街場所・目的地（複数回答）は「清水駅前銀座商店街」が50.3%で最も多く、次に「エスパルスドリームプラザ」31.0%、「清水銀座商店街」24.7%の順であった。「その他」13.7%の多くは、「コスプレイベント会場」などであった。

《来街場所・目的地》

（複数回答）

2023年度(R5) n = 300			2022年度(R4) n = 300		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	50.3	1	エスパルスドリームプラザ	33.3
2	エスパルスドリームプラザ	31.0	2	清水駅前銀座商店街	28.7
3	清水銀座商店街	24.7	3	河岸の市	12.3
4	河岸の市	10.3	4	清水銀座商店街	7.3
5	次郎長通り商店街	8.3	5	清水マリナート	3.7
6	清水中央銀座商店街	6.7	6	清水テルサ	3.3
7	清水テルサ	2.7	7	清水中央銀座商店街	1.7
8	港町商店街	2.0	8	港町商店街	1.3
9	清水マリナート	1.7	8	まある	1.3
10	まある	1.3	10	巴町商店街	1.0
10	フェルケール博物館	1.3	11	清水マリンビル	0.7
12	巴町商店街	1.0	12	次郎長通り商店街	0.3
12	清水マリンビル	1.0	12	フェルケール博物館	0.3
	その他	13.7		その他	26.7

《市内・市外別の来街場所・目的地上位5か所》

（複数回答）

静岡市内 n = 251			静岡市外 n = 49		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	47.3	1	清水駅前銀座商店街	67.3
2	エスパルスドリームプラザ	32.7	2	エスパルスドリームプラザ	22.4
3	清水銀座商店街	26.3	3	清水銀座商店街	16.3
4	河岸の市	9.2	3	河岸の市	16.3
5	次郎長通り商店街	8.8	5	清水テルサ	8.2

《男女別の来街場所・目的地上位5か所》

（複数回答）

男性 n = 173			女性 n = 127		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	49.1	1	清水駅前銀座商店街	52.0
2	エスパルスドリームプラザ	32.9	2	清水銀座商店街	28.3
3	清水銀座商店街	22.0	2	エスパルスドリームプラザ	28.3
4	清水中央銀座商店街	8.7	4	河岸の市	15.7
5	次郎長通り商店街	8.1	5	次郎長通り商店街	8.7

《世帯別の来街場所・目的地上位5か所》

(複数回答)

単身世帯 n=55			家族同居 n=197		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	61.8	1	清水駅前銀座商店街	47.7
2	エスパルスドリームプラザ	29.1	2	エスパルスドリームプラザ	34.5
3	清水銀座商店街	27.3	3	清水銀座商店街	22.3
4	河岸の市	10.9	4	河岸の市	11.2
5	次郎長通り商店街	5.5	5	次郎長通り商店街	9.6

《年代別の来街場所・目的地上位5か所》

(複数回答)

10代 n=32			20代 n=25			30代 n=33		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	エスパルスドリームプラザ	43.8	1	清水駅前銀座商店街	52.0	1	清水駅前銀座商店街	66.7
2	清水駅前銀座商店街	40.6	2	エスパルスドリームプラザ	36.0	2	エスパルスドリームプラザ	36.4
3	清水銀座商店街	34.4	3	清水銀座商店街	20.0	3	清水銀座商店街	27.3
4	次郎長通り商店街	6.3	4	河岸の市	16.0	4	清水中央銀座商店街	18.2
4	清水マリナート	6.3	-	その他	16.0	5	河岸の市	9.1

40代 n=48			50代 n=47			60代 n=53		
順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)	順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	62.5	1	清水駅前銀座商店街	55.3	1	清水駅前銀座商店街	39.6
2	エスパルスドリームプラザ	35.4	2	エスパルスドリームプラザ	31.9	2	エスパルスドリームプラザ	37.7
3	清水銀座商店街	25.0	3	清水銀座商店街	17.0	3	清水銀座商店街	20.8
4	まある	6.3	3	次郎長通り商店街	17.0	4	河岸の市	18.9
5	清水中央銀座商店街	4.2	5	河岸の市	12.8	5	清水中央銀座商店街	7.5

70代 n=62		
順位	来街場所・目的地	割合(%)
1	清水駅前銀座商店街	45.2
2	清水銀座商店街	25.8
3	次郎長通り商店街	14.5
4	エスパルスドリームプラザ	9.7
4	河岸の市	9.7

5. 中心市街地を訪れる目的

◆来街目的は「イベント参加」が約3割

来街目的（複数回答）は「イベント参加」が32.4%で最も多く、続いて「買物」28.8%、「散策・ウォーキング」27.1%、「飲食」10.4%であった。

来街目的が「買物」と回答した人にその内容（複数回答）を尋ねたところ、「生鮮食料品」が30.2%と最も多く、次に「衣料品」25.6%、「菓子・パン」20.9%の順であった。

《来街目的》 (複数回答)

n = 299		
順位	来街目的	割合(%)
1	イベント参加	32.4
2	買物	28.8
3	散策・ウォーキング	27.1
4	飲食	10.4
5	仕事・アルバイト	4.3

《買物の内容》 (複数回答)

n = 86		
順位	買物の内容	割合(%)
1	生鮮食料品	30.2
2	衣料品	25.6
3	菓子・パン	20.9
4	その他飲食料品	15.1
4	日用雑貨	15.1

6. 買物・飲食での予算額

◆予算は5千円未満が全体の約8割

買物・飲食での予算額は「3千円未満」が57.7%と最も多く、次に「3千円～5千円未満」、「5千円～1万円未満」の順で、1万円未満が約9割となっている。

なお、回答者の男女別、世帯別、年代別でも、全て「3千円未満」が最も多くなっている。

《買物・飲食での予算額》

(単位：%)

予算額	2023年度(R5) n = 246	2022年度(R4) n = 250	2021年度(R3) n = 288
3千円未満	57.7	60.4	49.7
3千円～5千円未満	22.8	24.0	28.1
5千円～1万円未満	11.4	11.6	14.9
1万円～3万円未満	6.5	3.2	3.8
3万円以上	1.6	0.8	3.5

《男女別の予算額》

(単位：%)

男性 n = 139			女性 n = 107		
順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)
1	3千円未満	59.7	1	3千円未満	55.1
2	3千円～5千円未満	20.9	2	3千円～5千円未満	25.2
3	5千円～1万円未満	10.8	3	5千円～1万円未満	12.1
4	1万円～3万円未満	7.2	4	1万円～3万円未満	5.6
5	3万円以上	1.4	5	3万円以上	2.0

《世帯別の予算額》

(単位：%)

単身世帯 n = 49			家族同居 n = 159		
順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)
1	3千円未満	63.3	1	3千円未満	54.7
2	3千円～5千円未満	16.3	2	3千円～5千円未満	24.5
3	5千円～1万円未満	10.2	3	5千円～1万円未満	13.2
4	1万円～3万円未満	8.2	4	1万円～3万円未満	6.3
5	3万円以上	2.0	5	3万円以上	1.2

《年代別の予算額》

(単位：%)

10代 n=30			20代 n=23			30代 n=29		
順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)
1	3千円未満	76.7	1	3千円未満	60.9	1	3千円未満	55.2
2	3千円～5千円未満	16.7	2	5千円～1万円未満	17.4	2	3千円～5千円未満	24.1
3	5千円～1万円未満	6.6	3	3千円～5千円未満	13.0	3	5千円～1万円未満	10.3
-	-	-	4	1万円～3万円未満	8.7	4	1万円～3万円未満	6.8
-	-	-	-	-	-	5	3万円以上	3.6

40代 n=40			50代 n=42			60代 n=39		
順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)	順位	予算額	割合(%)
1	3千円未満	47.5	1	3千円未満	45.2	1	3千円未満	48.7
2	3千円～5千円未満	35.0	2	3千円～5千円未満	21.4	2	3千円～5千円未満	27.5
3	5千円～1万円未満	10.0	3	5千円～1万円未満	19.0	3	5千円～1万円未満	15.0
4	1万円～3万円未満	5.0	3	1万円～3万円未満	9.5	4	1万円～3万円未満	5.0
5	3万円以上	2.5	5	3万円以上	4.9	5	3万円以上	3.8

70代 n=43								
順位	予算額	割合(%)						
1	3千円未満	74.4						
2	3千円～5千円未満	18.6						
3	1万円～3万円未満	7.0						
-	-	-						
-	-	-						

7. 中心市街地での滞在時間

◆滞在時間は「1時間～2時間未満」が最多

中心市街地での滞在時間は「1時間～2時間未満」が37.3%で最も多く、以下「2時間～3時間未満」21.2%、「1時間未満」20.2%の順となっている。また、これらを合わせた「3時間未満」が全体の8割近く(78.7%)を占めた。

《滞在時間(全体)》

(単位：%)

滞在時間	2023年度(R5) n=292	2022年度(R4) n=297	2021年度(R3) n=294
1時間未満	20.2	27.9	22.1
1時間～2時間未満	37.3	33.7	29.3
2時間～3時間未満	21.2	21.5	23.8
3時間～5時間未満	11.3	6.7	12.6
5時間～7時間未満	4.5	5.1	7.5
7時間以上	5.5	5.1	4.7

◆交通手段別の滞在時間は徒歩、自動車、静鉄電車、自転車、バス、バイクで「1時間～2時間未満」

交通手段別に滞在時間を「1時間～2時間未満」以外でみると、JR東海で「2時間～3時間未満」が最も多くなった。

《交通手段別滞在時間》

(単位：%)

交通手段	1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間以上
徒歩 n=104	34.6	41.3	14.4	4.8	1.9	3.0
自動車 n=94	14.9	35.1	22.3	16.0	4.3	7.4
静鉄電車 n=25	8.0	44.0	24.0	20.0	0.0	4.0
JR東海 n=24	8.3	29.2	33.3	8.3	16.7	4.2
自転車 n=20	20.0	30.0	25.0	5.0	5.0	15.0
バス n=20	5.0	40.0	30.0	20.0	5.0	0.0
バイク n=4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
タクシー n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

8. 中心市街地でのお買物・サービスの機能

◆お買物・サービスの機能は満足（「満足」＋「やや満足」）が約4割

中心市街地でのお買物やサービスの機能については「満足」と「やや満足」が合わせて39.0%、「不満」と「やや不満」が合わせて18.2%となった。

《お買物・サービスの満足度》

（単位：％）

満足度	2023年度(R5) n = 290	2022年度(R4) n = 297	2021年度(R3) n = 274
満足	16.6	17.8	13.5
やや満足	22.4	19.9	22.6
どちらでもない	42.8	45.5	46.0
やや不満	14.8	11.8	13.1
不満	3.4	5.0	4.8

中心市街地でのお買物やサービスの機能で満足（やや満足）している点は「接客・サービス」が39.5%で最も多く、次に「催事・イベントの内容」26.7%、「品揃え」22.1%、「気軽にお店に入れる雰囲気」16.3%の順であった。

一方、不満（やや不満）な点は「品揃え」が57.1%で最も多く、次に「商品のオリジナル性」20.4%の順であった。

《満足（やや満足）している点》

（複数回答 単位：％）

順位	満足の理由	2023年度(R5) n = 86	2022年度(R4) n = 100	2021年度(R3) n = 40
1	接客・サービス	39.5	41.0	42.5
2	催事・イベントの内容	26.7	15.0	-
3	品揃え	22.1	26.0	27.5
4	気軽にお店に入れる雰囲気	16.3	20.0	2.5
5	商品のオリジナル性	10.5	8.0	-

《不満（やや不満）な点》

（複数回答 単位：％）

順位	不満の理由	2023年度(R5) n = 49	2022年度(R4) n = 40	2021年度(R3) n = 31
1	品揃え	57.1	35.0	35.4
2	商品のオリジナル性	20.4	2.5	-
3	気軽にお店に入れる雰囲気	8.2	15.0	-
3	催事・イベントの内容	8.2	15.0	-
5	営業時刻	6.1	10.0	-

9. 充実してほしい施設やサービス

◆充実してほしい施設は「商業施設」

まちなかに充実してほしい施設（複数回答）を尋ねたところ、「商業施設」が43.4%で最も多く、次に「レストラン・カフェ」、「休憩スペース」、「こどもの遊び場」の順であった。

回答者の年代別にみると、10代以外の年代で「商業施設」が最多であった。

《充実してほしい施設》

（複数回答 単位%）

順位	充実してほしい施設	2023年度(R5) n = 272	2022年度(R4) n = 295	2021年度(R3) n = 274
1	商業施設	43.4	36.9	44.2
2	レストラン・カフェ	27.9	31.9	35.0
3	休憩スペース	18.0	11.2	15.3
4	こどもの遊び場	13.6	6.1	13.9
5	公衆トイレ・障害者用トイレ	12.5	9.2	9.9

《年代別の上位3施設》

10代 n = 30			20代 n = 23			30代 n = 27		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	レストラン・カフェ	33.3	1	商業施設	56.5	1	商業施設	37.0
2	スポーツ施設	20.0	2	レストラン・カフェ	30.4	2	こどもの遊び場	22.2
3	商業施設	13.3	3	イベントスペース	17.4	3	レストラン・カフェ	22.2
40代 n = 46			50代 n = 46			60代 n = 49		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	商業施設	47.8	1	商業施設	60.9	1	商業施設	44.9
2	こどもの遊び場	28.3	2	レストラン・カフェ	37.0	2	レストラン・カフェ	28.6
2	レストラン・カフェ	28.3	3	駐車場	21.7	3	駐車場	14.3
70代 n = 51								
順位	施設	割合(%)						
1	商業施設	37.3						
2	休憩スペース	27.5						
3	ベンチ	19.6						

◆充実してほしいサービスは「無料Wi-Fi」

まちなかに充実してほしいサービス（複数回答）を尋ねたところ、「無料Wi-Fi」が56.9%で最も多く、次に「公共交通機関」「共通駐車券」20.8%の順であった。

《充実してほしいサービス》

（複数回答 単位%）

順位	充実してほしいサービス	2023年度(R5) n = 216	2022年度(R4) n = 261	2021年度(R3) n = 78
1	無料Wi-Fi	56.9	53.6	21.8
2	公共交通機関	20.8	26.8	33.3
2	共通駐車券	20.8	-	-
4	レンタサイクル	8.3	8.0	15.4
5	ポイントカード・スタンプサービス	7.4	8.4	5.1

《年代別の上位3サービス》

10代 n=27			20代 n=19			30代 n=19		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	無料Wi-Fi	81.5	1	無料Wi-Fi	57.9	1	無料Wi-Fi	73.7
2	公共交通機関	11.1	2	公共交通機関	42.1	2	共通駐車券	47.4
3	宅配・出前サービス	7.4	3	レンタサイクル	15.8	3	公共交通機関	15.8
40代 n=42			50代 n=39			60代 n=38		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	無料Wi-Fi	54.8	1	無料Wi-Fi	56.4	1	無料Wi-Fi	50.0
2	共通駐車券	33.3	2	公共交通機関	30.8	2	共通駐車券	21.1
3	公共交通機関	16.7	3	共通駐車券	20.5	3	公共交通機関	13.2
70代 n=32								
順位	施設	割合(%)						
1	無料Wi-Fi	50.0						
2	公共交通機関	21.1						
3	共通駐車券	13.2						

10. 希望するまちのイメージ

◆希望するまちのイメージは「魅力あるお店が集まる商業が盛んな街」

希望するまちのイメージ（複数回答）を尋ねたところ、「魅力あるお店が集まり商業が盛んな街」が44.3%と最も多く、次に「コミュニティ豊かな住みやすい街」が30.6%、「安心・安全な街」が23.7%の順であった。

《希望するまちのイメージ》

（複数回答 単位%）

順位	希望するまちのイメージ	2023年度(R5) n=291	2022年度(R4) n=295	2021年度(R3) n=285
1	魅力あるお店が集まる商業が盛んな街	44.3	41.4	23.9
2	コミュニティ豊かな住みやすい街	30.6	27.5	29.5
3	安心・安全な街	23.7	26.1	37.5
4	公園や緑が多く憩いやゆとりがある街	23.0	26.8	16.1
5	毎日の買物に便利な街	22.7	24.1	22.1
6	多くの観光客が訪れるにぎやかな街	21.6	16.9	19.6
7	音楽や演劇が楽しめる文化的な街	18.9	19.7	15.4
8	港町の風情がある街	18.6	14.9	19.3
8	余暇やスポーツ、レジャーが楽しめる街	18.6	21.4	18.6
10	公共施設が集まる便利な街	13.1	16.9	21.4
11	道路や歩道、駐車場が整ったきれいな街	12.7	17.6	17.5
12	巴川の風情がある街	12.0	7.5	10.9

11. 物価高騰が続くことによる家計への影響

◆物価高騰が続くことによる家計への影響については「強く感じている」が49.5%

物価高騰が続くことによる家計への影響について尋ねたところ、「強く感じている」が49.5%、「少し感じている」が38.2%で、合わせて87.7%が影響を感じているという結果になった。

回答者の男女別・世帯別にみると、「強く感じている」が最も多かった。

《物価高騰が続くことによる家計への影響について》 (単位：%)

n = 293	
物価高騰が続くことによる家計への影響	割合(%)
強く感じている	49.5
少し感じている	38.2
あまり感じていない	9.9
全く感じていない	2.4

《男女別の物価高騰が続くことによる家計への影響について》 (単位：%)

男性 n = 172			女性 n = 121		
順位	物価高騰が続くことによる家計への影響	割合(%)	順位	物価高騰が続くことによる家計への影響	割合(%)
1	強く感じている	47.7	1	強く感じている	52.1
2	少し感じている	38.4	2	少し感じている	38.0
3	あまり感じていない	11.0	3	あまり感じていない	8.3
4	全く感じていない	2.9	4	全く感じていない	1.6

《世帯別の物価高騰が続くことによる家計への影響について》 (単位：%)

単身世帯 n = 54			家族同居 n = 192		
順位	物価高騰が続くことによる家計への影響	割合(%)	順位	物価高騰が続くことによる家計への影響	割合(%)
1	強く感じている	51.9	1	強く感じている	50.0
2	少し感じている	33.3	2	少し感じている	39.6
3	あまり感じていない	11.1	3	あまり感じていない	8.3
4	全く感じていない	3.7	4	全く感じていない	2.1

《年代別の物価高騰が続くことによる家計への影響について》 (単位：%)

10代 n = 30			20代 n = 24			30代 n = 32		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	少し感じている	40.0	1	強く感じている	45.8	1	強く感じている	65.6
2	あまり感じていない	26.7	2	少し感じている	29.2	2	少し感じている	31.3
2	強く感じている	26.7	3	あまり感じていない	25.0	3	あまり感じていない	3.1
4	全く感じていない	6.6	4	全く感じていない	-	4	全く感じていない	-

40代 n = 48			50代 n = 46			60代 n = 51		
順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)	順位	施設	割合(%)
1	強く感じている	56.3	1	強く感じている	56.5	1	少し感じている	49.0
2	少し感じている	37.5	2	少し感じている	32.6	2	強く感じている	47.1
3	あまり感じていない	6.3	3	全く感じていない	6.5	3	あまり感じていない	3.9
4	全く感じていない	-	4	あまり感じていない	4.4	4	全く感じていない	-

70代 n = 62								
順位	施設	割合(%)						
1	強く感じている	45.2						
2	少し感じている	40.3						
3	あまり感じていない	11.3						
4	全く感じていない	3.2						

12. 物価高騰の影響を感じる項目

◆物価高騰の影響を感じる項目については「食料品（生鮮食品を除く）」が83.5%と最多

物価高騰の影響を感じる項目について尋ねたところ、「食料品（生鮮食品を除く）」が83.5%、次に「交通費（ガソリン代を含む）」51.8%、「生鮮食品」40.6%の順であった。

回答者の男女別・世帯別・年代別にみると、「食料品（生鮮食品を除く）」は全てにおいて最も多くなっている。

《物価高騰の影響を感じる項目について》（複数回答）

n = 249		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	83.5
2	交通費(ガソリン代を含む)	51.8
3	生鮮食品	40.6
4	水道光熱費	31.3
5	日用品	30.9
6	外食(フードデリバリーを含む)	16.5
7	旅行	9.6
8	趣味娯楽	8.8
9	教育費	6.0
10	被服費	5.2

《男女別の物価高騰の影響を感じる項目について》（複数回答）

男性 n = 141			女性 n = 108		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	83.0	1	食料品(生鮮食品を除く)	84.3
2	交通費(ガソリン代を含む)	49.6	2	交通費(ガソリン代を含む)	54.6
3	水道光熱費	31.9	2	生鮮食品	54.6
4	生鮮食品	29.8	4	日用品	38.0
5	日用品	25.5	5	水道光熱費	30.6

《世帯別の物価高騰の影響を感じる項目について》（複数回答）

単身世帯 n = 44			家族同居 n = 167		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	81.8	1	食料品(生鮮食品を除く)	85.0
2	交通費(ガソリン代を含む)	54.5	2	交通費(ガソリン代を含む)	51.5
3	生鮮食品	31.8	3	生鮮食品	47.3
4	水道光熱費	27.3	4	日用品	36.5
4	日用品	27.3	5	水道光熱費	33.5

《年代別の物価高騰の影響を感じる項目について》

(複数回答)

10代 n=19			20代 n=19			30代 n=30		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	73.7	1	食料品(生鮮食品を除く)	73.7	1	食料品(生鮮食品を除く)	90.0
2	日用品	42.1	2	交通費(ガソリン代を含む)	63.2	2	交通費(ガソリン代を含む)	53.3
3	趣味娯楽	36.8	3	日用品	36.8	3	生鮮食品	40.0
4	交通費(ガソリン代を含む)	31.6	4	水道光熱費	26.3	3	日用品	40.0
5	生鮮食品	21.1	4	生鮮食品	26.3	5	水道光熱費	26.7

40代 n=43			50代 n=40			60代 n=46		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)	順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	83.7	1	食料品(生鮮食品を除く)	75.0	1	食料品(生鮮食品を除く)	93.5
2	交通費(ガソリン代を含む)	62.8	2	交通費(ガソリン代を含む)	70.0	2	交通費(ガソリン代を含む)	52.2
3	生鮮食品	46.5	3	水道光熱費	52.5	3	生鮮食品	41.3
4	日用品	39.5	4	生鮮食品	50.0	4	水道光熱費	32.6
5	水道光熱費	34.9	5	外食(フードデリバリーを含む)	25.0	5	日用品	30.4

70代 n=52		
順位	物価高騰の影響を感じる項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	84.6
2	生鮮食品	40.4
3	交通費(ガソリン代を含む)	30.8
4	水道光熱費	23.1
5	日用品	17.3

13. 1年前と比較して支出を抑えている項目

◆ 1年前と比較して支出を抑えている項目については「食料品（生鮮食品を除く）」が46.6%と最多

1年前と比較して支出を抑えている項目について尋ねたところ、「食料品（生鮮食品を除く）」が46.6%、「外食（フードデリバリーを含む）」・「交通費（ガソリン代を含む）」が23.7%であった。

回答者の男女別・世帯別にみると、「食料品（生鮮食品を除く）」は全ての男女別・世帯別で最も多くなっている。年代別にみても50代以外の年代で「食料品（生鮮食品を除く）」が最多となった。

《1年前と比較して支出を抑えている項目について》（複数回答）

n = 232		
順位	支出を抑えている項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	46.6
2	外食(フードデリバリーを含む)	23.7
2	交通費(ガソリン代を含む)	23.7
4	趣味娯楽	22.4
5	水道光熱費	18.5
6	旅行	17.2
7	日用品	16.8
8	被服費	16.4
9	生鮮食品	10.8
10	教育費	0.4
10	その他	0.4

《男女別の1年前と比較して支出を抑えている項目について》（複数回答）

男性 n = 132			女性 n = 100		
順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	44.7	1	食料品(生鮮食品を除く)	49.0
2	趣味娯楽	28.0	2	外食(フードデリバリーを含む)	32.0
3	交通費(ガソリン代を含む)	24.2	3	交通費(ガソリン代を含む)	23.0
4	旅行	17.4	4	水道光熱費	21.0
4	外食(フードデリバリーを含む)	17.4	4	被服費	21.0

《世帯別の1年前と比較して支出を抑えている項目について》（複数回答）

単身世帯 n = 43			家族同居 n = 151		
順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	44.2	1	食料品(生鮮食品を除く)	44.4
2	水道光熱費	27.9	2	外食(フードデリバリーを含む)	25.2
3	交通費(ガソリン代を含む)	25.6	3	趣味娯楽	23.8
3	外食(フードデリバリーを含む)	25.6	4	交通費(ガソリン代を含む)	22.5
5	趣味娯楽	23.3	5	被服費	19.9

《年代別の1年前と比較して支出を抑えている項目について》

(複数回答)

10代 n=22			20代 n=22			30代 n=24		
順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	40.9	1	食料品(生鮮食品を除く)	77.3	1	食料品(生鮮食品を除く)	54.2
2	趣味娯楽	36.4	2	外食(フードデリバリーを含む)	18.2	2	外食(フードデリバリーを含む)	37.5
3	外食(フードデリバリーを含む)	27.3	2	交通費(ガソリン代を含む)	18.2	3	趣味娯楽	29.2
4	日用品	22.7	2	生鮮食品	18.2	4	交通費(ガソリン代を含む)	25.0
5	水道光熱費	18.2	5	旅行	13.6	4	日用品	25.0

40代 n=41			50代 n=40			60代 n=41		
順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)	順位	支出を抑えている項目	割合(%)
1	食料品(生鮮食品を除く)	43.9	1	外食(フードデリバリーを含む)	32.5	1	食料品(生鮮食品を除く)	53.7
2	外食(フードデリバリーを含む)	29.3	1	食料品(生鮮食品を除く)	32.5	2	交通費(ガソリン代を含む)	39.0
2	趣味娯楽	29.3	3	交通費(ガソリン代を含む)	25.0	3	外食(フードデリバリーを含む)	22.0
4	旅行	26.8	3	趣味娯楽	25.0	3	水道光熱費	22.0
5	交通費(ガソリン代を含む)	17.1	5	水道光熱費	20.0	5	日用品	19.5

70代 n=42								
順位	支出を抑えている項目	割合(%)						
1	食料品(生鮮食品を除く)	38.1						
2	旅行	31.0						
3	水道光熱費	26.2						
3	被服費	26.2						
5	交通費(ガソリン代を含む)	21.4						